平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月27日

上場会社名　リコーリース株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8566　URL　http://www.r-lease.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役　社長執行役員　(氏名) 有川　貞広
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　常務執行役員　(氏名) 長田　泰賢　TEL 03-6204-0608
四半期報告書提出予定日　平成23年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　有
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	172,063	0.3	11,616	36.3	11,561	37.7	6,680	35.4
22年3月期第3四半期	171,548	△1.8	8,522	6.8	8,397	5.4	4,931	1.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	213.99	―
22年3月期第3四半期	157.99	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	617,691	101,507	16.4	3,244.52
22年3月期	624,530	96,017	15.3	3,070.17

(参考) 自己資本　23年3月期第3四半期　101,284百万円　22年3月期　95,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	―	18.00	―	20.00	38.00
23年3月期	―	19.00	―		
23年3月期(予想)				19.00	38.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無　無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	228,000	△0.2	14,500	26.0	14,300	26.1	8,110	21.9	259.79

(注) 当四半期における業績予想の修正有無　無

4. その他　（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　無

新規　―社　（社名　　）、　除外　―社　（社名　　）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　有

② ①以外の変更　無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	31,243,223株	22年3月期	31,243,223株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	25,944株	22年3月期	25,874株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	31,217,315株	22年3月期3Q	31,217,452株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成22年9月30日に公表いたしました連結業績予想から修正を行っておりません。
2. 本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因により、これらの業績予想とは異なる場合があることをご承知おきください。なお、予想数値に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．その他の情報 …… 4
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 4
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 4
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 4
（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書 …… 7
（第３四半期連結累計期間） …… 7
（第３四半期連結会計期間） …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

（第３四半期連結累計期間の連結経営成績）

	前第３四半期連結累計期間（自 平成21年４月１日 至 平成21年12月31日）	当第３四半期連結累計期間（自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）	増　減	
			金額	伸率(%)
売上高（百万円）	171,548	172,063	514	0.3
営業利益（百万円）	8,522	11,616	3,094	36.3
経常利益（百万円）	8,397	11,561	3,164	37.7
四半期純利益（百万円）	4,931	6,680	1,748	35.4
１株当たり四半期純利益	157円99銭	213円99銭	56円00銭	
（取扱高）				
リース・割賦事業（百万円）	166,772	173,016	6,243	3.7
金融サービス事業（百万円）	11,665	10,487	△1,177	△10.1
取扱高合計（百万円）	178,437	183,503	5,066	2.8

当第３四半期連結累計期間の国内経済は、一部企業の収益回復から景気底割れの懸念は遠ざかったものの、政府の経済対策の一部終了や円高等先行きに対する不透明感から企業の設備投資意欲は高まらない状況が続いています。

このような中、取扱高は前年同期比50億円増加の1,835億円となりました。売上高は前年同期比微増の1,720億円となりました。厳しい経済環境継続との認識から慎重な審査を継続したことや政府による金融支援効果で貸倒費用が大幅に抑制され、また資金調達費用の低減により、営業利益は前年同期比30億円増加の116億円となりました。四半期純利益は前年同期比17億円増加の66億円となりました。

	売上高（百万円）			セグメント利益（百万円）			営業資産（百万円）		
	前四半期累計	当四半期累計	増減	前四半期累計	当四半期累計	増減	前期末	当四半期末	増減
リース・割賦	167,877	168,076	199	7,840	10,690	2,850	474,487	468,098	△6,389
金融サービス	3,065	3,285	219	1,264	1,400	136	68,768	71,954	3,186
報告セグメント計	170,942	171,362	419	9,104	12,091	2,986	543,255	540,052	△3,203

【リース・割賦】

国内の設備投資需要が回復していない中、当社グループは引続き、有力ベンダー・優良ユーザーとの関係強化及び提案活動に注力致しました。その結果、リース・割賦事業の取扱高は1,730億円と前年同期比3.7%伸長しました。営業資産残高は前期末比63億円減少し、4,680億円となりました。

リース・割賦事業の売上高は1,680億円と前年同期と同水準を維持しました。貸倒費用の大幅抑制と資金調達費用の低減により、セグメント利益は前年同期比28億円増加し106億円となりました。

【金融サービス】

金融サービス事業の取扱高は前年同期比減少したものの、営業資産残高は前期末比31億円増加し719億円となりました。金利低下等により営業貸付における利息収入は伸び悩んだものの、注力している売掛金集金代行サービスや請求書発行代行サービス等の手数料収入の増加で、セグメント利益は前年同期比１億円増加し14億円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産の状況）

	前連結会計年度末 （平成22年3月31日）	当第３四半期連結会計期間末 （平成22年12月31日）	増　減	
			金額	伸率(%)
総資産（百万円）	624,530	617,691	△6,839	△1.1
*営業資産（百万円）	548,923	542,652	△6,271	△1.1
その他（百万円）	75,606	75,038	△567	△0.8
純資産（百万円）	96,017	101,507	5,489	5.7
自己資本比率（%）	15.3	16.4	＋1.1	

*営業資産には報告セグメントの営業資産に加え、その他事業の営業資産を含めて記載しております。

【総資産】

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、営業資産残高が前連結会計年度末比62億円減少したことで、同1.1%減少し6,176億円となりました。

【純資産】

当第３四半期連結会計期間末の純資産は、四半期純利益による66億円の増加と、剰余金の配当12億円による減少で、前連結会計年度末比54億円増加し1,015億円となりました。自己資本比率は1.1ポイント上昇し、16.4%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

	前第３四半期 連結累計期間 (自　平成21年４月１日 至　平成21年12月31日)	当第３四半期 連結累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	14,655	14,304	△351
投資活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	△179	△437	△257
財務活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	△31,293	△12,722	18,570
現金及び現金同等物四半期末残高（百万円）	1,070	1,633	563

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、143億円の収入（前第３四半期連結累計期間は146億円の収入）となりました。これは、収入で税金等調整前四半期純利益115億円、リース債権及びリース投資資産の減少額112億円となり、支出で割賦債権の増加額52億円、仕入債務の減少額55億円となったことが主な要因であります。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、４億円の支出（前第３四半期連結累計期間は１億円の支出）となりました。これは主に社用資産の取得によるものであります。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、127億円の支出（前第３四半期連結累計期間は312億円の支出）となりました。前第３四半期連結累計期間においては、手許資金を充当し有利子負債の返済を行ったため大幅な支出となりました。当第３四半期連結累計期間は、長期借入れや社債発行による収入685億円、長期借入金返済や社債償還による支出831億円を主要因として127億円の資金支出となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報
平成22年９月30日に公表いたしました業績予想から修正を行っておりません。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要
該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要
該当事項はありません。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要
資産除去債務に関する会計基準の適用
第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。
これにより、営業利益、経常利益がそれぞれ７百万円減少し、税金等調整前四半期純利益が67百万円減少しております。

（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要
該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

(1)四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第３四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年３月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,633	489
受取手形及び売掛金	28	31
割賦債権	45,089	39,845
リース債権及びリース投資資産	418,890	430,187
営業貸付金	74,554	74,436
その他の営業貸付債権	17,799	15,128
その他の営業資産	4,876	5,675
賃貸料等未収入金	9,397	10,533
その他の流動資産	44,334	43,608
貸倒引当金	△11,716	△9,194
流動資産合計	604,887	610,743
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	7,868	8,337
社用資産	642	661
有形固定資産合計	8,510	8,998
無形固定資産		
賃貸資産	98	4
その他の無形固定資産	1,610	1,845
無形固定資産合計	1,708	1,849
投資その他の資産		
投資有価証券	714	748
その他	1,869	2,190
投資その他の資産合計	2,584	2,939
固定資産合計	12,803	13,787
資産合計	617,691	624,530

（単位：百万円）

	当第３四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年３月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,656	17,211
短期借入金	151,080	124,949
1年内返済予定の長期借入金	115,705	104,200
1年内償還予定の社債	―	9,999
コマーシャル・ペーパー	6,000	29,000
未払法人税等	3,018	2,257
割賦未実現利益	3,848	3,887
賞与引当金	327	635
役員賞与引当金	―	15
その他の流動負債	39,955	36,054
流動負債合計	331,592	328,212
固定負債		
社債	75,000	55,000
長期借入金	105,924	142,001
退職給付引当金	538	507
その他の固定負債	3,128	2,791
固定負債合計	184,591	200,299
負債合計	516,183	528,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,896	7,896
資本剰余金	10,160	10,160
利益剰余金	83,158	77,696
自己株式	△46	△45
株主資本合計	101,169	95,707
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	114	135
評価・換算差額等合計	114	135
少数株主持分	222	175
純資産合計	101,507	96,017
負債純資産合計	617,691	624,530

(2)四半期連結損益計算書
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 (自　平成21年４月１日 至　平成21年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日)
売上高	171,548	172,063
売上原価	150,653	149,580
売上総利益	20,895	22,482
販売費及び一般管理費	12,372	10,866
営業利益	8,522	11,616
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	10
その他の営業外収益	10	28
営業外収益合計	20	38
営業外費用		
支払利息	27	19
社債発行費	103	64
その他の営業外費用	14	9
営業外費用合計	145	93
経常利益	8,397	11,561
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	59
特別損失合計	－	59
税金等調整前四半期純利益	8,397	11,501
法人税、住民税及び事業税	3,201	5,142
法人税等調整額	231	△368
法人税等合計	3,432	4,774
少数株主損益調整前四半期純利益	－	6,727
少数株主利益	32	47
四半期純利益	4,931	6,680

（第３四半期連結会計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結会計期間 (自　平成21年10月１日 至　平成21年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (自　平成22年10月１日 至　平成22年12月31日)
売上高	57,229	57,046
売上原価	50,163	49,553
売上総利益	7,065	7,492
販売費及び一般管理費	3,785	3,676
営業利益	3,280	3,816
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
その他の営業外収益	1	4
営業外収益合計	2	5
営業外費用		
支払利息	8	5
その他の営業外費用	0	4
営業外費用合計	8	10
経常利益	3,274	3,811
税金等調整前四半期純利益	3,274	3,811
法人税、住民税及び事業税	1,174	1,774
法人税等調整額	179	△218
法人税等合計	1,353	1,555
少数株主損益調整前四半期純利益	－	2,255
少数株主利益	13	15
四半期純利益	1,907	2,240

(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 (自　平成21年４月１日 至　平成21年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,397	11,501
賃貸資産減価償却費	4,182	3,901
社用資産減価償却費及び除却損	672	650
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,371	2,522
賞与引当金の増減額（△は減少）	―	△308
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	―	△15
退職給付引当金の増減額（△は減少）	―	31
引当金の増減額（△は減少）	△374	―
受取利息及び受取配当金	△19	△12
資金原価及び支払利息	3,080	2,502
社債発行費	103	64
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	―	59
割賦債権の増減額（△は増加）	734	△5,282
リース債権及びリース投資資産の増減額（△は増加）	14,261	11,297
営業貸付金の増減額（△は増加）	△7,423	△117
賃貸料等未収入金の増減額（△は増加）	1,652	1,136
賃貸資産の取得による支出	△2,790	△3,617
仕入債務の増減額（△は減少）	△5,210	△5,555
その他	3,732	2,612
小計	22,370	21,371
利息及び配当金の受取額	19	12
利息の支払額	△3,117	△2,703
法人税等の支払額	△4,616	△4,376
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,655	14,304
投資活動によるキャッシュ・フロー		
社用資産の取得による支出	△179	△448
その他	△0	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△179	△437
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	22,390	26,131
コマーシャル・ペーパーの純増減額（△は減少）	△40,000	△23,000
長期借入れによる収入	28,717	48,588
長期借入金の返済による支出	△66,159	△73,160
社債の発行による収入	34,896	19,936
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
配当金の支払額	△1,139	△1,217
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31,293	△12,722
現金及び現金同等物に係る換算差額	―	―
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△16,817	1,144
現金及び現金同等物の期首残高	17,888	489
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,070	1,633

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報
〔事業の種類別セグメント情報〕
前第３四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年12月31日）

	賃貸・割賦事業（百万円）	金融サービス事業（百万円）	その他の事業（百万円）	計（百万円）	消去又は全社（百万円）	連結（百万円）
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	167,877	3,065	605	171,548	－	171,548
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	167,877	3,065	605	171,548	－	171,548
営業利益	7,840	1,264	99	9,204	△682	8,522

（注）１．事業の区分は、主たる営業取引の種類により区分しております。
２．各事業区分の主要品目
①賃貸・割賦事業
事務用・情報関連機器、医療機器、印刷・工作機械・計測器等のファイナンス・リース、オペレーティング・リース、割賦・クレジット（賃貸取引の満了・中途解約に伴う物件売却等を含む）
②金融サービス事業
ビジネスローン・業界特化型融資・住宅ローン・マンションローン等の貸付、及び請求書発行・売掛金回収等の代行サービス
③その他の事業
リコーグループ会社への融資、リコーグループのファクタリング、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス等

〔所在地別セグメント情報〕
前第３四半期連結累計期間（自平成21年４月１日　至平成21年12月31日）
本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕
前第３四半期連結累計期間（自平成21年４月１日　至平成21年12月31日）
海外売上高がないため該当事項はありません。

〔セグメント情報〕

１．報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、お客様の幅広い設備導入ニーズにお応えするための「リース・割賦」事業と、お客様の金融面に関する課題解決にお応えするための「金融サービス」事業に区分管理し、事業活動を展開しております。報告セグメントは「リース・割賦」「金融サービス」としております。

「リース・割賦」セグメントは、事務用・情報関連機器、医療機器、印刷・工作機械・計測器等のファイナンス・リース、オペレーティング・リース、割賦・クレジット（賃貸取引の満了・中途解約に伴う物件売却等を含む）を行っております。「金融サービス」セグメントは、ビジネスローン・業界特化型融資・住宅ローン・マンションローン等の貸付、及び請求書発行・売掛金回収等の代行サービスを行っております。

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第３四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	168,076	3,285	171,362	701	172,063
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	168,076	3,285	171,362	701	172,063
セグメント利益	10,690	1,400	12,091	138	12,229

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リコーグループ会社への融資、リコーグループのファクタリング、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス等を含んでおります。

３．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	12,091
「その他」の区分の利益	138
全社費用（注）	△612
四半期連結損益計算書の営業利益	11,616

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。